

2021年度 自己点検・評価シート

*各組織における新たな目標または、「2021年度時点の問題点(課題)」の改善に向けた目標を設定してください。
*2020年度の取り組みに対して内部質保証委員会の「所見」が付されている場合には、その改善に向けた目標を設定してください。

基準8	教育研究等環境					
項目 (●:点検・評価項目 ○:評価の視点)	①現状説明、②長所・特色、③問題点 (2021年度期首時点)	①2021年度以降の達成目標(*) ②達成度を測るための客観的な指標	①2021年度の取り組みとその成果 ②2021年度の取り組み後の問題点(課題)	自己評価	根拠資料	内部質保証委員会 所見(助言)
<p>●図書館、学術情報サービスを提供するための体制を備えているか。また、それらは適切に機能しているか</p> <p>○図書資料の整備と図書利用環境の整備 ・図書、学術雑誌、電子情報等の学術情報資料の整備</p> <p>⑧・国立情報学研究所が提供する学術コンテンツや他図書館とのネットワークの整備 ・学術情報へのアクセスに関する対応 学生学習に配慮した図書利用環境(座席数、開館時間等)の整備</p> <p>○図書館、学術情報サービスを提供するための専門的な知識を有する者の配置</p>	<p>[現状説明] ○図書資料の整備と図書利用環境の整備 ＜図書、学術雑誌、電子情報等の学術情報資料の整備＞ ・コンテンツ: 約83万冊の図書資料、7,300種類以上の雑誌に加え、各種データベース、電子ジャーナル、電子ブック等のデジタルコンテンツも契約・購入しており、様々なメディアによる情報を提供している。 ・図書館利用のためのオンライン動画を作成・公開して、利用者のサポートを行っている。 ※コロナ禍、ポストコロナの利用環境を見据え、学外(自宅等)からの利用環境を整備すべく、デジタルコンテンツの充実、図書館活用動画の作成、オンライン企画等を充実させている。</p> <p>＜国立情報学研究所が提供する学術コンテンツや他図書館とのネットワークの整備＞ ・目録作成・相互貸借支援: NACSIS-CAT/ILLを利用 ・図書・雑誌: CiNii Books, CiNii Articles等各種DB利用環境を整備 ・ICT環境: 利用者用PCは貸出用も含め104台を整備、全館無線LANを完備し、持込PCや各種モバイル端末の利用も可能。モバイル端末からのリモート印刷も可能となる。</p> <p>＜学術情報へのアクセスに関する対応 学生の学習に配慮した図書利用環境(座席数、開館時間等)の整備＞ ・施設: 通常の閲覧席に加え、個人閲覧室、グループ閲覧室(4人収容)、グループ学習室(12人収容)、静粛ゾーンとしてのキャレルスペース、さらにアクティブラーニングにも対応可能なブラウジングスペース等を備え(座席数:680席)、利用者の多様な要望に対応している。 ※2021年当初は、コロナ禍を考慮して、座席数を施設の機械換気能力範囲内の定員となるように運用(通常定員の半分～2/3程度)。 ・開館時間: 授業実施期間は9:00から21:10まで(土曜日は20:00まで)、長期休暇期間は9:00から20:00まで開館しており、年間を通して学習環境を提供している。 定期試験前の2週間は日曜日も開館して学修環境を提供している。</p> <p>＜その他＞ ・利用促進: 教員および他部署との連携による企画(読書会、おすすめ本展示、レポートの書き方講習会等)を実施している。多くの資料を紹介するための企画展示、配架の工夫なども行って図書館利用活性化を図っている。 ・利用者からの声を図書館施設の整備・運用の改善に生かしている。</p> <p>○図書館、学術情報サービスを提供するための専門的な知識を有する者の配置 ・スタッフ: 専任職員8名中6名が司書資格を有しており、資格のない職員も図書館での勤務経験を積むとともに、各種研修に参加して大学図書館職員としての質を確保するための体制をとっている。</p> <p>[長所・特色] ・個人での読書や学習にとどまらず、グループ学習、アクティブ・ラーニングにも対応可能となるように、多様な学びをサポートする環境を整備している。 ・開架スペースが多く、ブラウジングによる資料との出会いが生まれやすい。壁面はブックウォールとなっており、表紙を見せた展示がしやすく、企画を含めた多様な形での資料の提供が可能となっている。</p> <p>[問題点] ・図書館ホームページの充実を含め、図書館からの積極的な情報発信を行っていく。 ・選書業務は、現状「東京経済大学図書館資料収集方針」に基づいて行っているが、実務に則した基準の作成・体制の整備を行う。 ・貴重書のデジタルアーカイブ化を進める。 ・2020年6月に組織再編により誕生した教学支援部(図書課、学習支援課、情報システム課)との連携を推進していく。</p>	<p>①2021年度以降の達成目標</p> <p>2021年度事業計画に基づいて図書館の役割を果たすとともに、引き続き、コロナ禍、ポストコロナの利用環境を見据え、各種サービスの充実に努める。 中長期的には、第2次中期計画の「教学」の重点事項を踏まえつつ、大学図書館を取り巻く環境の変化に対応した「期待される役割」を検討・実施していく。</p> <p>○図書館からの情報発信 ・図書館HPの更新・充実、情報提供の工夫 ○教育及び研究支援 ・図書館資料活用のためのオンライン動画コンテンツの充実 ・オンラインコンテンツ(各種データベース、電子ジャーナル、電子ブック等)の整備 ○利用促進のための企画・実施 ・教職員、他部署との連携 ○図書館資料の整備 ・選書体制の再構築 ○図書館施設の活用 ・ブラウジングスペースの活用 ○教学支援部としての連携 ・学習センター: 学習(学修)支援のための企画(講座・展示) ・CSCとの連携: 資格取得に関する情報提供 ・情報システム課: PC/システム環境整備のための連携強化、リポジトリ関連のサポート</p> <p>②達成度を測るための客観的な指標</p> <p>・HPの整備 ・HP、サイボウズ、ポータル、掲示を利用した情報発信 ・各種企画等の実施・参加者数 ・オンラインコンテンツの導入、活用のための情報提供 ・ブラウジングスペースの活用実績 ・各種利用統計 ・利用者からの声を収集、課内で共有し対応を記録</p>	<p>①2021年度の取り組みとその成果 ○緊急事態宣言下での利用者対応: 「返却期限日の延長」及び「図書の郵送貸出(送料自己負担)」を実施。後者は、サービス拡充のため通常運用とした。 ○図書館からの情報発信: 図書館HPの内容の充実、情報提供の工夫、情報更新を行った。6月に図書館公式Twitterを再開、11月にInstagramを開始。 ○教育及び研究支援: 図書館活用のための動画コンテンツを作成して、新入生ガイダンスで利用(4/26～7/15実施、97コマ)。各種データベース利用方法、レポートの書き方等についても動画コンテンツを図書館HPに掲載して、事前・事後学習、反復学習等でも利用できるようにしている。 ○図書館利用促進: 各種イベント・展示を企画・実施。 ・新2年生歓迎企画「教職員のおススメ本」展示(4/10～5/31実施 推薦者62名) ・米山高生図書館長、高津秀之先生主催「読書茶話会」(5/8、7/24、9/11、11/6実施) ・早尾貴紀先生主催「読書会」(4月～9月 隔週木曜日 全13回実施) ・岡本英男学長主催「学長ゼミ」(毎週水曜日実施) ・夏季休暇中の学修・学生支援イベント「オンラインで利用できる電子コンテンツを活用した企画」(データベース講習会(7/29日実施、参加者50名)、電子ブックを読んでレビューを投稿(7/26～9/23実施、投稿4名)) ・他部署職員おすすめ本紹介(12/2昼休み) ・生協「読書マラソン」紹介(12/14昼休み) ・図書館まつり「文学と音楽」(12/7 16:30～18:30) ・上記以外に、教員、他部署、図書館職員・スタッフ企画による展示を実施 ○図書館資料の整備: 複数名での選書体制の再構築を行った。図書については、電子ブックの導入も進めている。データベースについては利用状況アンケートを実施し、要望に沿った情報環境を整備している。 ○図書館所蔵貴重書資料: 「歴史的典籍NW事業」(国文学研究資料館)でのデジタルアーカイブ化に着手した。 ○ブラウジングスペースは、利用しやすい空間づくりと並行して、各種イベントを開催することで、外からの可視化による利用率向上、学習意欲創出につなげるよう努めている。 ○教学支援部の連携では、学習(学修)支援のためのイベント共催、CSC及び講座の情報提供、リポジトリ関連の情報共有を行っている。 ○学内インターンシップに参加し、企画展示の実習を実施。(10/6、10/13実施 3名参加)</p> <p>②2021年度の取り組み後の問題点(課題) ・オンラインサービスの更なる充実 ・HPの内容の充実、見やすい構成、情報更新の徹底 ・図書館の活用を促すイベント・展示の実施、集客の工夫 ・図書館蔵書の利活用 ・教職員、他部署との連携</p>	<p>A</p>	<p>・図書館ホームページ ・ガイダンス資料 ・2021展示ファイル ・2021イベントファイル</p>	<p>○2020年度の所見に記入した「教育・研究組織である図書館としての運営方針や長期構想を明示した上で、環境整備等を行ってください。」 ※2020.3.12大学運営会議議事録参照について、未着手であれば検討を開始してください。</p> <p>また、図書館を、教育・研究の場として更に活用するための検討や教学組織との連携を行ってください。</p>
<p>●教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか</p> <p>⑫</p> <p>○適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価 ○点検・評価結果に基づく改善・向上</p>	<p>[現状説明] ・各種統計(入館者数、貸出冊数、館内利用資料の動向、予約制の部屋の利用率)を継続して記録し、利用状況を確認している。 ・入館者数、貸出冊数については、年2回、全教職員対象に報告するとともに、図書館活動の概要報告及び協力依頼を行っている。 ・利用環境の改善・向上のために、利用者からの意見を館内投書箱・ポータル等で随時受け付けており、適宜対応している。</p> <p>[長所・特色] ・利用者管理、資料管理にICを利用し、取得した各種統計データを、利用環境の改善・向上に向けた取り組みの際の参考としている。</p> <p>[問題点]</p>	<p>①2021年度以降の達成目標</p> <p>・各種利用統計データや利用者の声を参考に、利用環境の改善・向上を目指す。</p> <p>②達成度を測るための客観的な指標</p> <p>・入館者数 ・貸出冊数 ・館内利用冊数 ・各種学習室の利用率 ・イベント・企画等の参加者数</p>	<p>①2021年度の取り組みとその成果 ・入館者数、貸出冊数、館内利用資料の動向、予約制の部屋の利用統計などの統計を継続的に記録し、広く教職員へ報告、図書館利用への協力を呼び掛けている。 ・図書館入口及び図書館ポータルサイトに投書箱を設置し、意見を集約、改善につなげているが、今年度は要望はなかった。 ・大学で実施している「教室・設備等に関するアンケート」「教育・研究アンケート」の内容を確認して対応している。</p> <p>②2021年度の取り組み後の問題点(課題) ・引き続き各種データ、意見、アンケート結果を基に教育研究等環境を向上させるべく取り組んでいく。</p>	<p>A</p>	<p>・各種利用統計 ・委員会議事録 ・サイボウズ掲示板</p>	<p>○引き続き改善・向上に努めてください。</p>